

## 施策8-2-1 多様な学習活動の支援と学びの循環の創造

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 誰もがいつでもどこでも学ぶことができるまち。
- 学びの成果を次の学びにつなげ、活動する人と地域資源の循環（わ）でコミュニティが活性化するまち。

### 取組方針

#### 多様な生涯学習の「場」の整備

新型コロナウイルスの影響による「学びの継続」の課題が顕在化しました。コロナ禍に限らず、個人の生活スタイルを崩すことなく学ぶことができる環境の整備が求められています。

オンライン等の環境整備を進めながら、年齢、性別、障害の有無、日本語を母語とする・しない等に関わらず、学ぶ側の多様性に合わせた学びのスタイルを提供します。

- 【主な事業】 地域文化創造館の管理・運営／点字図書館障害者サービス事業／池袋図書館の改築  
千登世橋教育文化センター再整備方針の検討／千早地域文化創造館、千早図書館の整備検討

#### 学習活動の組織化とネットワークの支援

個々の学びの成果を個人にとどめるだけでなく、積極的に地域に還元する流れの構築が課題となっています。行政がネットワーク構築の支援等により学びのプラットフォームを整備し、あらゆる主体が参画・協働し学びの成果を地域コミュニティの活性化につなげます。

- 【主な事業】 大学との協働による「としまコミュニティ大学」／子どもの読書活動支援事業



インターネット配信による「書評講座」



学びの循環（わ）のイメージ  
(出典『豊島区生涯学習推進ビジョン2020-2024』)

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合【%】	8.5	9.4	10.4

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
学習成果の発表機会数【回】	91	620	670